

第3号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX (52)1490
発行責任者 石橋英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

2016原水爆禁止世界大会広島



2015原水爆禁止世界大会長崎(松山から大成中・富樫耀さんが参加)

8月4日から3日間、原水爆禁止世界大会が広島を会場に行われます。この大会に高校生を派遣しようというとりくみが提起されました。管内各町の原水爆禁止協議会ら有志団体でつくる原水爆禁止国民平和行進地区実行委員会が呼びかけたものです。松山教職員組合も構成団体となっています。

去年は、「青年教職員を」という要請に応えて、大成中学校の富樫耀さん(25歳)が長崎大会に参加しました。

今年も、「核廃絶は世代を越えた悲願、未来世代にリレーしていきたい」

(平和行進江差集会での白山尚代表挨拶)などの訴えを受けて、現在、複数の高校生(上ノ国在住)が参加の方向で検討中です。保護者の方々は、「我が子の人生で機会があればぜひ体験させたかった」と語っており、希望する高校生の参加に期待を寄せます。

この後、実行委員会は、派遣に要する経費の支援のための募金活動

高校生を送るつもり

すすめる予定です。地元高校生への派遣ということで、団体や関係者の他、広く地域住民の協力を集めるとりくみを重視しています。また、貴重な学びの体験を共有するため、地域の住民や子どもたちに関わった環流報告会

も企画しています。地域代表として高校生を派遣するとりくみは、八雲町などで実施されていますが、松山では初めての事業で、その実現への期待が高まります。人類との共存が不可能な核兵器は廃絶以外になく、そのための歩みを止めることがあってはなりません。世代へのバトンを確実に渡すために、とりくみへのご協力を心から呼びかけます。



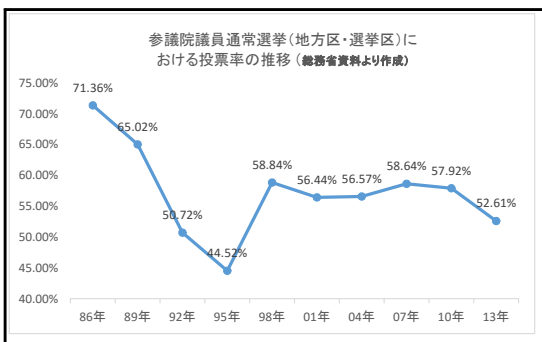
松山の街道を行く国民平和行進(6/1江差地区行進)

第24回参議院通常選挙

公民権の行使 公民教育の範

投票で行う、行くべし

日本国憲法施行の下に始まった参議院選挙、24回目となる通常選挙が7月10日投票で行われています。選挙権が18歳以上に引き下げられて初の国政選挙となります。国民と社会の針路を左右する大事な選挙であることは論を待ちませんが、何よりも主権者としての公民権の行使がしっかりと保障され、実行されることが第一義的に望まれます。実家に住民票を残す学生などが「生活実態が無い」とされて選挙権が与えられない問題などが深刻な課題も明らかにされました。投票率の低さも検証と改善が必要です。まずは私たち自身が公民権を積極的に行使することが求められますが、多忙な日々にあつてままならない方もいるかもしれません。期日前投票など条件改善も図られています。また教職員には「選挙権その他の公民としての権利を行使するための休暇」も認められています。その背景には、権利保障の他に公務教職員として「公民教育の範」を示す役割への期待も込められていると考えられます。投票権を行使していきましょう。



投票率の推移(総務省資料より作成)

参院選投票のしかた

参院選挙では2回投票します

最初に 選挙区選挙は候補者名で投票します

次に 比例代表選挙は「○○党」または候補者名で投票します

期日前投票 仕事や行楽などで選挙当日に投票ができない場合、事前に投票することができます。

各市町村の「期日前投票所」において、午前8時30分から午後8時までです。郵送された「投票所入場整理券」を持参するか、所定の書類に必要な事項を記入すれば、簡単に投票できます。

公立高等学校配置計画案(2017年度~2019年度)渡島・桧山学区

*「公立高等学校配置計画案」(平成29年度~31年度)より作成

渡島学区

学校名	H28学級	欠員	H29	H30	H31		備考
函館西	普4	0	普▲1		普▲3 閉	新設校	学科検討中
函館陵北	普3	0			普▲3 閉	6学級	西高校舎使用
単市立函館	普8	0		普▲2			
函館工業定	工2	62	工▲1				
上磯	普2→1	7	普▲1→0				空教室活用で高等特別支援開設
総森	普3→2	0	総+1				
計			普▲1 総+1 工▲1	普▲2	普▲6 (学科検討)+6		

渡島学区H32~35見直し ○4年間で7~8学級相当の調整 ○函館市内で定員調整 ○北斗市内で再編の検討

桧山学区

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H29~35	H32~35
学区内中卒数	325	313	294	291	247	236	218	216	▲109	▲75
対前年増減		▲12	▲19	▲3	▲44	▲11	▲18	▲2		
学校名	H28学級	欠員	H29	H30	H31	H32~35年度の見直し				備考
単江差	普3	5				○4年間で1~2学級相当の調整				
上ノ国	普1	3				○学区全体の高校配置の在り方についての検討				
総檜山北	普3	31				○小希望校の学級減や再編整備の在り方の検討				
奥尻町	普1	29				○地域キャンパス校化の検討				
計	普8	68								

高校配置計画案発表

道教委

続く学級減と統廃合

渡島学区なども

子どもも地域の声生かす検討を

北海道教育委員会
は6月7日、「公立
高等学校配置計画
案(平成29年度~31
年度)」と「平成29年
度公立特別支援学校
配置計画案」を発表
した。学科は検討中
だが、

校舎は西高を使用するとされ
ています。また、上磯高校の
空き教室を活用して高等支援
学校を新設するとしています。
桧山学区では、32年度以降4
年間で、学級調整や再編整備
の検討が必要とされています。
これまでの地域別検討協
会で、「必要としている子ども
がいる限り学校の存続を」「こ
れ以上の経済的負担は無理」
などの声が出されてきました。
「地域を支える独自の教育の
在り方」「少人数を生かした施
策の実施」などについて検討
する必要も説かれています。
「地方創生」が叫ばれる中、
高校の存続と地域の関わりを
視点に据えた議論が欠かせま
せん。その際、教育の最大の
当事者である生徒の声を聴い
て生かす姿勢が大切です。

特別支援学校配置計画案

教育条件の整備は緊要

来年度、上磯高校の空き教
室を利用して2間口の高等支
援学校を新設するとしていま
す。子どもと保護者の切実さ
を反映していますが、一方で、
特別な支援を要する子ども
の学びを保障する上での環境に
ついて検証が求められます。

示したことは、学
びの場の多様性を
確保する上で有効
だと考えられます
が、子どもの発達
や実態に立った教
育課程づくりが課
題となります。

この間増設された支援学校
は空き校舎・教室の転用がほ
とんどです。寄宿舎が併設さ
れないことも負担を大きくさせ
ています。子どものニーズと
実態に合った条件整備は緊要
の課題です。



北海道上磯高等学校の校舎

公立特別支援学校配置計画案(2017年度)道南関係

*「公立特別支援学校配置計画案」(平成29年度)より作成

区分	学校名	学科名	H28年度		H29年度		増	減
			学級	定員	学級	定員	学級	定員
知的 (職)	今金 高等養護学校	産業科	1	8	—	—	▲1	▲8
		農業科	2	16	1	8	▲1	▲8
		生活家庭科	1	8	—	—	▲1	▲8
		窯業科	—	—	1	8	1	8
		家庭総合科	—	—	1	8	1	8
	計	4	32	3	24	▲1	▲8	
新設 高等支援学校 (上磯高校空教室)		環境・流通サポート科	—	—	1	8	1	8
		福祉サービス科	—	—	1	8	1	8
		計	—	—	2	16	2	16
肢体	函館養護学校	普通科(重複)	5	15	4	12	▲1	▲3
		計	5	15	4	12	▲1	▲3

教員採用試験2次対策学習会

集団面接対策

	日時	内容	会場
第1回	7/15金 18:30	・基礎と作法(ビデオ)	元和交遊館(乙部)
第2回	7/26火 17:30	・集団面接の実際(演習) ・模擬授業の実際(演習)	桧山教職員会館 江差町陣屋町86-1
第3回	7/27水 17:30		
第4回	7/28木 17:30		
第5回	7/29金 17:30		

参加自由、無料。最寄りの職場分会か組合員または下記へご連絡を。
申込先: 桧山教職員組合 T0139-52-0858 F0139-52-1490

熊本震地震救援カンパ

21463円



ありがとうございます

熊本震災から2月半、救済に向けた支援が続けられています。
これまで桧山教組に寄せられたカンパは 21,463 円になります。
8つの職場から届けられました。第1次分として近く送金します。
「子どもと学校」の支援に資する予定です。皆様のご厚意
に深く感謝申し上げます。復旧・復興はなお途上です。

引き続きご御協力をお願いします